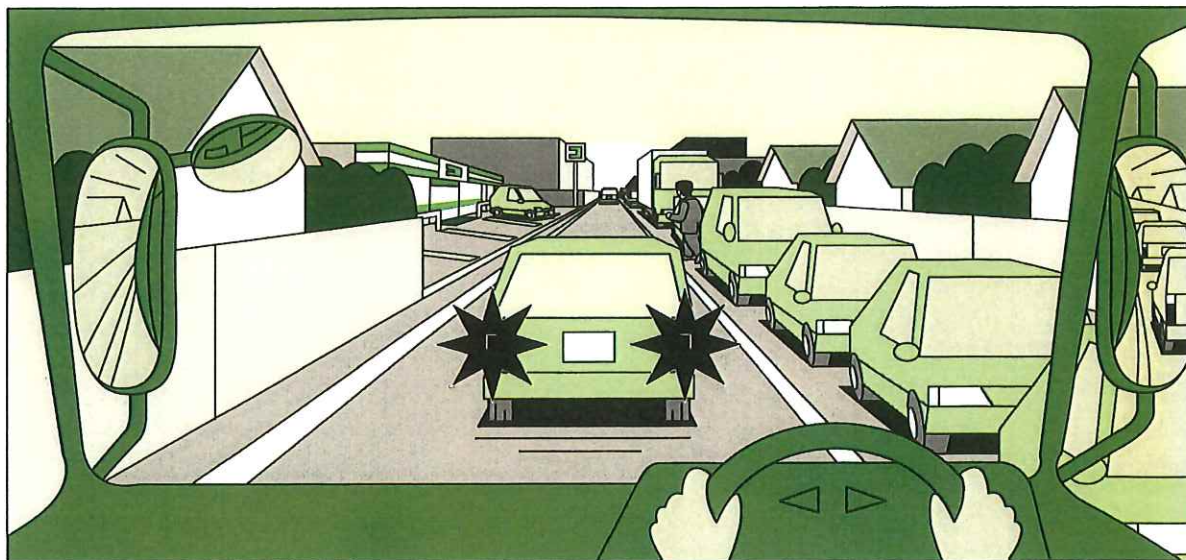


危険予知訓練 (KYT) シート：交通事故防止編 あなたならどうしますか？

〔第 174 回〕「対向車線が渋滞している片側 1 車線道路」

状況

あなたは、出勤時間帯の片道 1 車線道路を前車に追従しながら走行しています。対向車線は渋滞しています。前車のブレーキランプが点灯しました。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



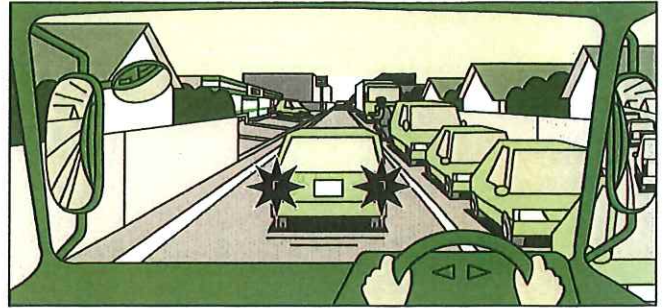
◆どのような危険がありますか？

◆どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

危険予知訓練(KYT)シートの解説

▶ 交通事故防止編

あなたは、出勤時間帯の片道1車線道路を前車に追従しながら走行しています。対向車線は渋滞しています。前車のブレーキランプが点灯しました。この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



どのような危険がありますか？

- ①急減速・急停止した前車に追突する危険があります(図1)。
- ②渋滞車列の間から出てきた歩行者と衝突する危険があります(図2)。
- ③前方のコンビニエンスストアの駐車場から出てきた車と衝突する危険があります(図3)。

どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

- ①前車のブレーキランプが点灯したことから、前車の前方で、歩行者が道路を横断してきたり、コンビニの駐車場から車が出てきたりしたということが考えられます。「この車に追従すればいいだろう」と、安易に考え追従していると、前車の急減速・急停止に対応できずに追突する危険があります。トラックは見下ろすような視界になるため、前車との車間距離が長いように錯覚しがちになることから、車間距離を詰めがちです。前車に追従する時は、前車の急減速・急停止に対応できるよう、しっかり車間距離を確保しましょう。
- ②対向車線が渋滞している時には、渋滞車列から道路を横断してくる歩行者を予測しておくことが大切です。歩行者は、「トラックは止まってくれるだろう」と安全確認をせずに道路を横断してくることがあります。特に出勤時間帯は、歩行者の行動も先急ぎになりがちです。対向車線が渋滞している時は、その隙間からの歩行者の横断を予測しながら慎重に走行しましょう。
- ③前方にはコンビニの駐車場があります。駐車場から道路に出てくる車や歩行者等を予測しておきましょう。漫然と運転していると、道路に出てくる車や歩行者を見落とし、衝突する危険があります。駐車場に差しかけた際には、道路に出てくる車や歩行者がいないか、しっかり確認し

図1

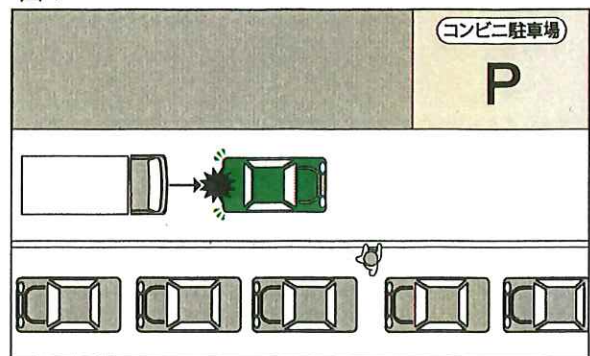


図2

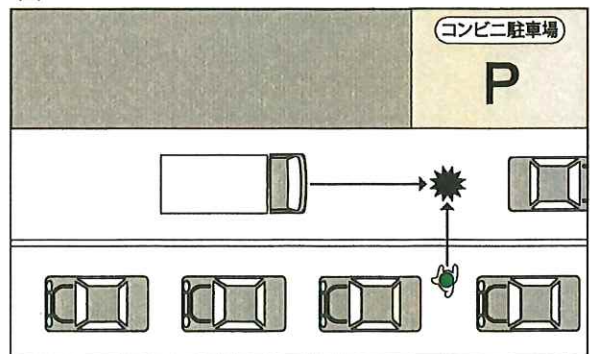
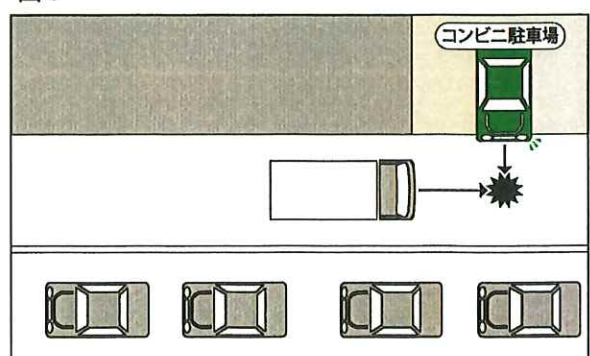


図3



ましょう。また、道路に出ようとしている車や歩行者を確認した時は、一時停止して道を譲り、プロドライバーとして、他車(者)に事故を起こさせない運転を実践してください。